

## 2020年農林業センサス(農林業経営体調査)調査結果のポイント【確定値】

### 調査の概要

**農林業センサス** 農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計の作成・提供を目的とした調査であり、昭和25年に第1次の調査が実施された。

以降、5年ごとに調査が実施され、今回は第15次センサスとなる。

**調査方法** 農林業経営体調査 — 農林水産省-都道府県-市区町村-指導員-調査員という系統で行われ、調査員が調査対象に対し調査票を配布・回収する自計報告調査の方法で行った。

なお、調査対象の協力が得られる場合には、オンラインにより調査票を回収する方法も可能とした。

**調査期日** 令和2年2月1日現在で実施した。

### 調査結果のポイント

農業経営体は約3万5千経営体。農林業経営体は約3万8千経営体。

「農業経営体」は約3万5千経営体で、前回の2015年センサスに比べ14.2%減少した。(1頁 図1表1)

なお、林業経営体を含めた農林業経営体総数は約3万8千経営体で、前回の2015年センサスに比べ15.3%減少した。(1頁 図1表1)

農業経営は法人化・大規模化が進む。

農業経営を行う法人経営体数は4,047経営体で、前回の2015年センサスに比べ13.2%増加した。(2頁 表2)

また、経営耕地面積を前回と比べると

- ・100ヘクタール未満の経営体数は、15%減少した。
- ・100ヘクタール以上の経営体数は、17.5%増加している。(2頁図2、3頁表3)
- ・集積面積割合は、50ha以上が53.8%を占め、5.1ポイント増加した。(3頁図3)

さらに、農産物販売金額規模別農業経営体数を前回と比べると

- ・5,000万円未満の経営体数は、20.8%減少した。
- ・販売金額5,000万円以上の経営体数は、39.8%増加した。

基幹的農業従事者(個人経営体)の高齢化が進む。

基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員)に占める65歳以上の割合は40.5%となり前回の2015年センサスに比べ4.9ポイント増加した。(6頁図8)

また、基幹的農業従事者の平均年齢は58.5歳となり、前回の2015年センサスに比べ0.5歳増加した。